平成	26年度	事務事業実績	評価表			政策N	[o. 8	施策No.	85	事業No.	14 -	10
事利	<b>紧事業</b> 名	2 中山間均	也域振興事業				会計	一般会		0.1	//h ->	0.0
, ,		1 1 11/4/	っづくり推進課	H27係等名 中	山間地域担当専	門於	事業種		開始 中山間地		終了	30
	<sup>匹当味等</sup>			街の魅力を高め					i Halbiyay	グロコゴ	1 177	
	立置づら	_		地域振興の推進								
	1 5 /-	-/L /	H. (), BB (r), 1-4 ~ .				指標名及び単位			26年	度数値	
	対象(誰・何を)		中山間地域の人口及び生活機能			0月末由山間7地区住民登紀			急 人口	3. l 🖂		
н	意図(どういう状態にするか)		対象地区の人口の減少に歯止めをかけ、生活機能を再構築する						12	2954		
自的						指						
						標						
	2 2	せたい上位施	7地区の人口減少率を下げる									
	策の成	未拍保 				00年英字	丰 07 左 本利 正	100左座目	ヽュ ヮ.   <b>/出 土</b>	/ 11/2 1 1 1 1 7	大田よい	
目標	種別		指標名及び単位			- 度計画	26年度美術	頁 27年度計画	28年度兒	込み 加考	(指標多	変更なと)
	成果   指標   前年対比人		、口減少率1%以内(%)			1	1.5	1	1			
	1日1宗											
	成果 指標	成果地域振興住宅への入居世帯数		数(世帯)		6	6	6 5				
	定性目標											
	中山間地域7地区の主体的な取り組みを進める中で、庁内と自治振興センター、まちづくり委員会が連携して中山間地域振興のため											
		を推進する		出去ていまた。4	兄が亡ノキャー	キマ <i>エ</i> ロ゚クー	江野中雪	大江乱みいせ	,士松小,	•		
			域連絡会議を開催 委員会が行う地域								過疎計	画区域
事	の遠山	12地区につ	いては、別の定住	支援事業にて同	様の取組みを行	う。)						
業			亍う事業モデルとし 価値を高める活動		竜東部会が取り	狙む活動	かを支援し	、土地利用計	・画などを	含めた将	来ビジ	ョン作成
概	1,4C / I	也以♡∫貝/生		11C 7/41/ 00								
要												
	1 +#h+s	北次派な汗り	事業内	•		1		名称			活動指	標
			事業内 用した振興活動等 地域連絡会議の	に対する支援	づくり委員会)	1 (1	L)活動回数			1 (1)4E		標
	(1)飯 (2)中	田市中山間 山間地域振	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助	に対する支援 開催(7地区まちつ (補助率10/10 」	上限30万円)	(2	2)補助対象	效 象事業		1 (1)4 (2)7	ī 事業	標
26	(1)飯 (2)中 (3)中	田市中山間 山間地域振 山間地域の	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを	に対する支援 開催(7地区まちつ (補助率10/10 」	上限30万円)	(2		效 象事業		1 (1)4	ī 事業	標
年	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まち	田市中山間 山間地域振 山間地域の る。(中山間 っづくり委員会	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定	に対する支援 開催(7地区まち~ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援	上限30万円) 団体に運営補助	(2 (3 2	2)補助対象 3)補助対象	牧 泉事業 泉団体		1 (1)4E (2)7를 (3)15	] 写業 ]]体	標
年度	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まち (1)中	田市中山間 山間地域の 山間地域の る。(中山間 がでいる員会 山間地域定	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上例	上限30万円) 団体に運営補助 限50万円)	(2 )金を (3 2 (1	2)補助対 3)補助対 1)補助対 L)補助対	牧 泉事業 泉団体 泉事業数		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5	可 事業 計体	標
年	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まち (1)中	田市田間山間市中山間間山間間では地間である。(中国では地域は間である。) でいい はい は	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助区の遠山郷2地	上限30万円) 団体に運営補助 限50万円)	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5 (2)1E	可 事業 団体 事業	標
年度事業内	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まり (1)中 (2)生	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 L)補助対	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5	可 事業 団体 事業	標
年度事業	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まり (1)中 (2)生	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5 (2)1E	可 事業 団体 事業	標
年度事業内	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まり (1)中 (2)生	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5 (2)1E	可 事業 団体 事業	標
年度事業内	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まり (1)中 (2)生	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5 (2)1E	可 事業 団体 事業	標
年度事業内	(1)飯 (2)中 (3)中 交付す 2 まり (1)中 (2)生	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (3 (3 (1 (2	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧		1 (1)4E (2)7 (3)1E 2 (1)5 (2)1E	可 事業 団体 事業	標
年度事業内	(1)飯 (2)中 (3)中 交付すを (1)中 ※ (2)生 (3)千	田市間山山間間山間間では、一世間間である。 できょう いいい でいい 地域 山間 球地 地間 球地 地域 地間 球球 地域 域能 を しょう は 一番 大き は できます いい かい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く	(2 (1 (2 (1 (2 (5	2)補助対 3)補助対 1)補助対 1)補助対 2)活動回数	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧	特定財源	1 (1) 4屆 (2) 7項 (3) 1屆 2 (1) 5項 (2) 1屆 (3) 25	3 業 計体 3 業 3 可 1 可	標
年度事業内容	(1)飯 (2)中 (3)中 交付すた (1)中 ※ (2)生 (3)千 事業 業費計	田市間間地域の旧間である。(りは) 田市間間地域の旧間である。(りは) 地域の間球地域を大地域を大地域を大地域を大力では、一つなり、一つなり、一つなり、一つなり、一つなり、一つなり、一つなり、一つなり	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 見地域竜東部会) 会が主体となる定位 住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究 生フィールドワーク	に対する支援 開催(7地区まちく (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上附 地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く 地域再生活動	(2 (1 (2 (1 (2 (5 (2 (1 (2 (1 (2 (1 (2 (1))))))) (1 (1)))) (1 (1)))) (1 (1))) (1 (1))) (1 (1 (1)) (1 (1 (1)) (1 (1) (1 (1 (1)) (1 (1 (1)) (1 (1 (1)) (1 (1 (1 (1)) (1 (1 (1)) (1 (1	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 3)活動回数 <b>度予算額</b> 18,062	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文		1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最上	
年度事業内容	(1)飯(2)中(3)中(3)中(2)また(1)中※(2)生(3)千(3)千(4)	田市間間地域の旧場では、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが 26年度予算額	-限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く 地域再生活動	(2 (1 (2 (5 (5 (5) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最上	
年度事業内容	(1)飯 (2)中 (3)中 交付すた (1)中 ※ (2)生 (3)千 事業計 国庫	田市間間に できない はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 との修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403	(2 (1 (2 (5 (5 (5) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最上	
年度事業内容	(1)飯(2)中(3)中(3)中(4)を10(2)を11(	田市間間にある。(いか)の山海活代地域の間では、いか山海活代地域の間球機には、いか山海球機には、大きのでは、たらのでは、	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 との修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772	- 限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000	(2) (3) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最上	
年度事業内容	(1)飯(2)中(3)中(3)中(4)を10 (2) (2) (3) (3) 手費 庫 県 5 走	田山山る。(い山過活代地域の間球の山間では、大大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大大学の一般では、大学の一般では、大大学の一般では、大学の一体の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一体の一体の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一体の一体のでは、大学の一体の一体の一体の一体のでは、大学の一体の一体の一体のでは、大学の一体の一体の一体のでは、大学の一体のでは、大学のいいないのでは、大学のいいない、大学のいいない、大学のいいない、大学のいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいないのでは、大学のいいのでは、大学のいいないないのでは、大学のいいのでは、大学のいのでは、大学のいのでは、大学のいのでは、大学のいのでは、大学のいいのでは、大学のいいのいのでは、大学のいのでは、大学のいいのでは、大学のいいのいのでは、大学のいのでは、大学のいのでは、大学のいいのでは、大学のいい	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上附地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772 5,000	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000	(2 (1 (2 (5 (5 (5) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 7 8 8 8 9 1 8,062	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最後」	
年度事業内容	(1)飯中(2)中では、(2)中では、(2)生で、(3)年では、(3)年では、(3)年では、(3)年のでは、(3)年のでは、(3)年のでは、(4)飯中では、(3)年のでは、(3)年のでは、(4)飯中では、(3)年のでは、(3)年のでは、(4)飯中では、(3)年のでは、(4)飯中では、(4)飯中では、(3)年のでは、(4)飯中では	田市間間にある。(いか)の山海活代地域の間では、いか山海活代地域の間球機には、いか山海球機には、大きのでは、たらのでは、	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神助率2/3 上 (地区の遠山郷2地 との修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772	- 限30万円) 団体に運営補助 限50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000	(2 (1 (2 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5 (5	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最後」	
年度事業内容	(1)飯中中すた (2)中中すた (2)生 (1)※(2)生 (2)生 (3) 事費国県 表 一般職員	田山山るグ山過活代 コイチ出金の財子 要には、一大大学の関係を対して、一大学学の関係を対して、一大学の対して、一大学のでは、一大学のは、一大学のでは、一大学のは、一大学のでは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のでは、一大学のは、一大学のでは、一は、一大学のは、一大学のは、一は、一大	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事業補助 立促進計画対象は 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上附地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772 5,000	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343	(2) (3) (4) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対象 3)補助対象 1)補助対象 2)活動回数 5 5 5 6 7 7 8 8 8 9 1 8,062	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最後」	
年度事業内容	(1) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (2) (3) 事費 国県 走そ州計員員	田山山るグ山過活代 コー・フレー マー・フレー コー・フレー です はいます アー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象が 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 7,152 2,000	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (地区の遠山郷24 と研修活動 クとの協働によるが 26年度予算額 10,772 5,000	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000	(2 (1 (2 (5 (5) (2 (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	2) 補助対約 3) 補助対約 (1) 補助対約 (2) 活動回数 (2) 18,062 (18,062	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 文 (国)過疎集系 (10/10)	客等自立.	1 (1) 4屆 (2) 7頁 (3) 1屆 2 (1) 5頁 (2) 1屆 (3) 25	可業件 業可可 「最後」	
年度事業内容 事 人匠 略	(1) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (2) (3) 事費国県 (4) 提職職事 (4) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	田山山るが山過活代 コープ 支足の の 世界 では、 大田山山るが山過活代 コープ 大田 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象が 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 7,152 2,000	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神) 上ので (神) 上ので (本) 上のが (本) 上	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555	(2) (3) (3) (4) (5) (5) (5)	2) 補助対約 3) 補助対約 (1) 補助対約 (2) 活動回数 (2) 18,062 (18,062	牧 泉事業 泉団体 泉事業数 牧 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと	寄附	1 (1) 4E (2) 7写 (3) 1E 2 (1) 5写 (2) 1E (3) 25	可 業体 業 可 豆	助金
年度事業内容 事 人匠 業	(1)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(3)(2)(3)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)	田山山るが山過活代 コ(支足の)関係地域の情報では、大門金を見る。 1 日本 1 日	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 間地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象が 立促進計画対象が 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 7,152 2,000 11,920 実績1.4%減、2	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神)の遠山郷24 と研修活動 クとの協働によるが 10,772 5,000 10,772 5,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555 %減、26年度実	(2) (3) (4) (5) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対対 3)補助対対 (1)補助対対 (2)活動回数 (2)活動回回数 (3)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	文 東事業 東団体 東事業数 東女 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと	客等自立 寄附 少率となっ	1 (1)4屆 (2)7頁 (3)1屆 2 (1)5頁 (2)1屆 (3)25 (3)25	日 業体 業 回	助金が増加
年度事業内容 事 人正 業達	(1) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (2) (3) (2) (3) 事費国県 (4) 提職職事 (4) (4) (4) (4) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	田山山るが山過活代 コ(支足の)関係地域の情報では、大門金を見る。 1 日本 1 日	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象! 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 7,152 2,000 ま績1.4%減、2 などがあり地域の	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 (神)の遠山郷24 と研修活動 クとの協働によるが 10,772 5,000 10,772 5,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555 %減、26年度実	(2) (3) (4) (5) (5) (5) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対対 3)補助対対 (1)補助対対 (2)活動回数 (2)活動回回数 (3)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	文 東事業 東団体 東事業数 東女 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと	客等自立 寄附 少率となっ	1 (1)4屆 (2)7頁 (3)1屆 2 (1)5頁 (2)1屆 (3)25 (3)25	日 業体 業 回	助金が増加
年度事業内容 事 人正 業達	(1) (2) (3) (2) (3) 付ま中※生子 (2) (3) イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	田山山るグ山過活代 コ(支支星の殴(下所費 目) 市間間。グ間疎機地 スーー・ スーー は でいまれば でいまれば アール域の 地域を 大中地域の は でいまれば アール は でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば でいまれば の間 間 を とって 間 振の間 真定自維学	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象! 持するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 7,152 2,000 ま績1.4%減、2 などがあり地域の	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上附地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが 10,772 5,000 5,772 10,772 10,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555 %減、26年度実 活動や地域振興(	(2) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対対 3)補助対対 (1)補助対対 (2)活動回数 (2)活動回回数 (3)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	文 東事業 東団体 東事業数 東女 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと	客等自立 寄附 少率となっ	1 (1)4屆 (2)7頁 (3)1屆 2 (1)5頁 (2)1屆 (3)25 (3)25	日 業体 業 回	助金が増加
年度事業内容	(1)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(2)(3)(4)(2)(3)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)	田山山るが山過活代 コ(支足型の殴り) 原産 目山山るが山過活代 ストニー の殴り (原産) 日本 はいり 地域 ではいり 地域を大 アーリ金 を でいます (支足の としが でいます できます できます できます できます できます できます できます でき	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象 対するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 4,768 7,152 2,000 実績1.4%減、2 などがあり地域の である。	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上附地区の遠山郷2地 と研修活動 クとの協働によるが 10,772 5,000 5,772 10,772 10,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555 %減、26年度実 活動や地域振興(	(2) (3) (3) (4) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対対 3)補助対対 (1)補助対対 (2)活動回数 (2)活動回回数 (3)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)	文 東事業 東団体 東事業数 東女 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと	客等自立 寄附 少率となっ	1 (1)4屆 (2)7頁 (3)1屆 2 (1)5頁 (2)1屆 (3)25 (3)25	日 業体 業 回	助金が増加
年度事業内容 事し、人正には、業達振・革	(1) (2) (3) (2) (3) 付ま中※生子 (2) (3) イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	田山山るが山過活代 コ ( 支 足 の 段 ( 所 所 費 目 」) 『点市間間。ぐ間疎機地 スーチ出 食 他 源 円 専 専 ( 2 生 の と く 2 た 必 題 明 振 の 間 真 定 自 維 学	用した振興活動等 地域連絡会議の 興事業支援補助 連携活動モデルを 引地域竜東部会) 会が主体となる定住支援事画対象 対するための研究 生フィールドワーク 25年度決算額 4,768 4,768 4,768 7,152 2,000 実績1.4%減、2 などがあり地域の である。	に対する支援 開催(7地区まちへ (補助率10/10 」 を育成する。対象 住事業の支援 (補助率2/3 上 N地区の遠山郷2地 との修活動 クとの協働によるが 10,772 5,000 5,772 5,772	- 限30万円) 団体に運営補助 最50万円) 也区を除く 地域再生活動 26年度決算額 10,403 5,000 60 5,343 7,152 2,000 17,555 %減、26年度実活動や地域振興化 具体的な事業の原	(2) (3) (4) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (5) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	2)補助対対 (3)補助対対 (4)補助対対 (2)活動 (3)活動回回数 (5) (5) (5) (5) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	文 東事業 東団体 東事業数 (国)過疎集系 (10/10) (そ)ふるさと 直より多のが減	客等自立 寄附 少率となっ 況を把握	1 (1)4屆 (2)7頁 (3)1屆 2 (1)5頁 (2)1屆 (3)25 (3)25	日 業体 業 回	助金が増加

②改革 提案